

第2回豊明市地域包括ケア連絡協議会 代表者会 議事録

日 時 平成27年3月16日(月) 14時～

場 所 豊明市保健センター 会議室

〔出席委員〕9名（欠席なし） 〔オブザーバー〕6名 〔傍聴〕なし

1 あいさつ

2 議題

(1) 今年度の地域包括ケアシステム構築に向けた取組みについて

資料に沿って各部会による事務局説明の後、意見交換等を行った。

<ICT 医療福祉連携部会>

- ・医療福祉連携に関する様々な取組みが、一般市民に周知されていない。より一層、サービス受け手側への啓発が必要。
- ・保大 HP とかかりつけ医との連携も、ICT 活用も含め強化を。
- ・ひとり暮らし高齢者や閉じこもりがちの高齢者などの生活支援、医療福祉に関する支援など、高齢者のあらゆる相談に応じられるようなワンストップ窓口設置が計画されている。東名古屋医師会は、27.4～専任コーディネーターを配置予定。

<入退院調整部会>

- ・在宅支援体制を24時間365日で整えるためには、専門職の人材確保が問題。
- ・潜在看護師（看護師OB、子育て後等）の調査、活用により人材確保を検討。
- ・保大 HP 看護部（病棟NS）と地域包括ケア中核センター（訪看Ns、薬剤師）との連携による同行訪問等で専門職のスキルアップも図っているところだが、その仕組みもなく診療点数もつかない自助努力。体制づくりが必要。
- ・災害時対応次のステップは、潜在看護師も含めた専門職の活用。
- ・24時間365日対応のうち、本当に医療対応が必要なケースは全体の2割。残り8割はコール窓口にて対応可能。超高齢化に対応するために少ない人材を効率的に活用する仕組みも。

<見守り生活支援部会>

- ・地域包括ケアは住民が主役。町内単位で動けるよう町内会長等への働きかけも。

<けやきいきいきプロジェクト>

- ・各地域での取り組みを市内全域に広げたい。先進的な取組みの啓発が大事。寺院での講演など、新しいアイデアも取り入れた様々な方法で啓発を。

(2) 豊明市における地域包括ケアの方向性

水野会長より、資料に沿って説明

(3) その他

- ・3月23日(月)地域包括ケアモデル事業活動成果報告会について（お知らせ）